

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040030

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費:1,800千円 計画内容:商品券発行事業 (平成25年度から商品券の枚数を拡大し、地元購買の増加策さらには商店街に対する買物頻度の増大促進を図る)
基本施策	4 商工業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 事業所の体づくりへの支援	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	商業活性化推進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	町内商工業の販売額		#N/A	
事業目標	販売率100%	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に 対する補助 1,800千円	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に 対する補助 1,800千円	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に 対する補助(プレミアム率25%) 27,137千円 ※平成26年度繰越事業	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に 対する補助(プレミアム率20%) 6,000千円	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に 対する補助(プレミアム率20%) 6,000千円	
	事業費(千円)	42,737	1,800	1,800	27,137	6,000	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	13,887			13,887		
	道支出金	13,250			13,250		
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	15,600	1,800	1,800		6,000	6,000	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	42,707	1,800	1,800	27,107	6,000	
	財源内訳						
	国庫支出金	13,867			13,867		
	道支出金	13,240			13,240		
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	15,600	1,800	1,800		6,000	6,000	
関 連 事 項	特定財源の名称 地方創生(消費喚起型) 交付金	【評価・実績】	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に 対する補助 発行枚数:18,000枚 売上金額:17,250千円 使用実績:16,495千円	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に 対する補助 発行枚数:18,000枚 売上金額:17,250千円 使用実績:16,495千円	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に 対する補助 発行枚数:142,500枚 売上金額:118,750千円 使用実績:118,600千円	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に 対する補助 発行枚数:54,000枚 売上金額:36,000千円 使用実績:35,941千円	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に 対する補助 発行枚数:54,000枚 売上金額:36,000千円 使用実績:35,922千円
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	販売枚数18,000枚	販売枚数18,000枚	販売率100%	販売率100%	販売率100%
		年度達成率	100%	100%	100%	100%	100%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	4%	8%	72%	86%	100%
		備考欄					

事業名	商業活性化推進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	福田 泰弘

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内商工業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	販売枚数及び換金額	
【抱える課題やニーズは】	町外の量販店・郊外大型ショッピングセンターへ顧客が流出し、町内小売業の活力が低下している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地元での購買意欲を喚起し、販売額の向上を目指す。	① 販売枚数	目標年度 目標値	平成29年度 54,000枚
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	町経済が活性化し、地元商工業者の経営基盤が安定する。		実績値	54,000枚
			達成度	100.0%
		② 換金額	目標年度 目標値	平成29年度 36,000千円
			実績値	35,922千円
			達成度	99.8%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	プレミアム商品券の発行に係る割増額の補助	12,000円分の商品券のプレミア額2,000円分を町が負担(100%)、その他発行に係る経費(印刷・広告宣伝等)は商工会が負担。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経済の長期低迷と購買力の町外流出が続く中、地元における消費拡大のため、当面は行政の支援が必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	計画枚数を完売していることから見て、町民への定着も十分と考える。また、国及び北海道の交付金が終了したなか、プレミアム率20%を維持していることや地域商工業者が併せて行っている自助努力により、相乗効果が発生しており、経済効果があったと判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町外への顧客流出、大型量販店の参入などにより流通形態が変化しているなか、商店経営の一助となっており、効果的である。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	プレミアム商品券の発行については、町民が利益を受けるものであり、また、限度額を設定していることから公平と判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
プレミアム率の維持により、非常に高い効果が得られている。商店経営の一助等の位置付けもあることから、町内商店街の自助努力を引き続き促進していくためにも必要と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
プレミアム率の維持により地元での購買意欲が喚起されており、町経済の活性化と地元商工業者の経営基盤強化が図られていることから、今後とも継続して実施する。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止